スポ

# 健康コーナー

中央保健センター☎21-5354 菖蒲保健センター☎85-7021 栗橋保健センター☎52-5577 鷲宮保健センター☎58-8521

保健センターの保健事業 7月10日(月)~8月9日(水)の保健事業 (7月1日~9日は広報くき6月号に掲載)

種別	日程	場所	対象者
成人健康相談 【要予約】	毎週月〜金曜日(祝日を除く)	各保健センター	市内在住者
食生活相談 【要予約】	毎週月〜金曜日(祝日を除く)	中央保健センター	市内在住者
精神保健福祉士による こころの健康相談 【要予約】	7/12休) 13:30~15:30	栗橋保健センター	意欲の低下や ひきこもり傾向にある方等 ※家族などからの相談も可
不登校・ひきこもり 家族のつどい	7/10月) 14:00~16:00	久喜中央 コミュニティセンター	登校拒否・不登校・ひきこもり で悩んでいる家族

## ・・・急な病気やけがのとき・・

お医者さんに行くか 迷ったらまず相談!

## ★休日診療のお知らせ

市では、休日に緊急に治療が必要な方のため、次のと おり診療体制を整備しています。

※診療を希望する方は必ず事前に電話をしてください。

#### <u>内科</u>

日程	時間	医療機関
7/2(日・9(日・16(日)・ 17(祝・23(日)・30(日)、 8/6(日)	9:00~12:00	新久喜総合病院 ☎26-0033

#### 小児科

日程	時間	医療機関
7/2(日) · 9(日) · 16(日) · 23(日) · 30日(日)、8/6(日)	9:00~12:00 (予約受付時間 8:00~11:30)	扶顛堂たかぎ クリニック ☎21-0124
7/17(祝)	9:00~12:00	土屋小児病院 ☎21-0766

休日診療では、軽度の救急患者への応急的な診療を行っています。かかりつけ医のある方は、受診後に治療の内容や処方薬などを医師に伝えてください。また、救急車による搬送の対応を行っている医療機関もありますので、できるだけ診療時間内にかかりつけ医を受診するなど、適切な受診にご協力ください。

### (\*) 電話相談・案内

●埼玉県救急電話相談#7119 (24時間対応)

※ダイヤル回線・IP電話などからは ☎048-824-4199 ガイダンスに応じて、下記3つの窓口から選択してください。 1 小児救急相談 2 大人の救急相談 3 医療機関案内

●小児救急電話相談 #8000 (24時間対応)

※ダイヤル回線・IP電話などからは ☎048-833-7911

●精神科救急電話 ☎048-723-8699

※非通知設定はつながりません。

夜間・休日の緊急的な精神医療相談・医療機関案内です。 月~金曜日…17時~翌朝8時30分

土・日曜日、祝日…8時30分~翌朝8時30分

## 「とねっと」の事業終了について

地域医療ネットワークシステム「とねっと」は令和5年度 をもって事業を終了します。

なお、ご自身の健康管理に役立つ健康記録の機能は事業終了までの間、引き続きご利用いただけます。

事業終了の詳細については、とねっと事務局から参加者あてに送付される案内をご確認ください。

間 健康医療課地域医療係(内線3424)

## ¥) ¼

## 成人歯科健康診査・妊婦歯科健康診査

#### ●成人歯科健康診査

対 市内在住で、令和5年度に40歳、50歳、60歳、70歳になる方 ※対象者には5月下旬に通知(青色のはがき)を送付しています。

実施期間 令和6年3月31日まで

#### ●妊婦歯科健康診査

対 市内在住で妊娠中の方 (母子健康手帳交付時に「妊婦歯科健康診査 受診券」をお渡ししています)

実施期間 妊娠中

問 お住まいの地区の保健センターへ

# 愛の献血にご協力を

- 7月22日(土)10時~16時
- 場 久喜駅西口駅前広場
- 四瀬血全 🔯
- 間 健康医療課地域医療係 (内線3424)

#### へ こころの健康講座 ひきこもりに対してできること ~Part l~



- 場 ふれあいセンター久喜 ※手話あり (希望者は申込時にお伝えください)
- 図 家庭で抱え込まずに一緒に考えてみませんか。 ひきこもりについて知識を深めましょう。
- 開 并上智博さん (臨床心理士・公認心理師 NPO法人子育で 応援隊むぎぐみ 心理相談部門 Sali 心の相談室)
- 対 市内在住・在勤・在学者 定 50人 (申込順)
- 申 7月27日(水までに電子申請または電話・FAX・メールで中央保健センター保健予防係 (№21-5392)✓ Schuo-hokencenter@city.kuki.lg.jp)へ



間中央保健センター

## 熱中症予防のためにできること

熱中症が起こりやすいのは、真夏の暑い日だけではありません。暑さに慣れていない 梅雨明けの時期や、室内で何もしていないときでも発症します。

特に高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能や調整機能が低下したり、子どもは体温の調節機能が十分に発達しておらず、背が低い幼児やベビーカーは地表から放射熱を多く受け、体温がより高くなりやすいため注意が必要です。

#### ○暑さを避ける

- ・すだれやカーテンで、直射日光を 遮る。エアコンと扇風機を上手に 使い、エアコン使用中も換気を行 う。
- ・外出は暑い日・時間を避け、日傘 や帽子を着用して日陰を歩き、こ まめに休憩する。

#### ○体調不良時には無理をしない

- ・めまい、立ちくらみ、手足のしびれ は熱中症の危険サインです。涼し い場所に避難し、服を緩めて水分 補給をしましょう。
- ・自力で水を飲めない、意識がない 場合は、ただちに救急隊を要請し ましょう。



★のどが渇く前、暑い場所に 行く前等にこまめに水分・塩 分補給をしましょう。

(soft)





「広報くき 2023 (令和5年).7

広報くき 2023 (令和5年).7